



フォーラムたより

2017
4月号
No. 49

広域避難者交流会に参加 生活再建に祈りを込めて



お正月準備の会 2016 in 町田

金光教首都圏災害ボランティア支援機構(以下支援機構)は昨年12月26日、広域避難者交流会実行委員会主催の「広域避難者交流会 お正月準備の会2016 in 町田」に参画し、本教から22名がボランティアとして参加した。

この交流会は、東日本大震災によって首都圏各地に避難している避難者が、年間行事として行っていた正月準備(餅つき)と一緒に、行くことで、避難先を超えた交流や情報交換を目的に開催されたもので、会場となった町田シバヒロ(東京都町田市)には、避難者や支援者ら297人が首都圏各地の避難先などから集まった。

場内には、浪江焼きそば、たこ焼き、雑煮などの炊き出しや、新鮮野菜の直売、竹馬などの子ども向けのブースも設営され、餅つきを楽しんだり、久しぶりの再会に話しが弾んだり、それぞれ交流のひとつときを楽しんでいた。

本教では、炭火による焼き鳥のブースを出店。自作の焼き鳥器を使って、中畑建一さん(東京都北沢教会)を中心に、鶏もも肉とつくね串を提供。たれの焦げる甘い香りに誘われて人も集まりだし、焼きたてを美味しそうに頬張る姿が絶えることはなかった。美味しかったと何度も来られる方もあり、好評のうちに500本を焼き上げた。

また、受付などの運営全般に渡っても幅広く活躍して、この準備会を支えた。

中畑さんは、「教会とは違って、準備の面でも不安な気持ちもありましたが、ボランティアの皆さんに手伝って頂きながら、楽しく準備もできました。焼きたてを提供するのは大変でしたが、皆さんが美味しいと喜んでくれる姿をみて、逆に私が元気を頂きました」。

金光教東京学生寮から参加した何曉芳(カ・ギョウホウ)さんは、「はじめてのボランティア参加で何をしたいのかわかりませんでした。皆さんに丁寧に教えて頂きながら楽しくお手伝いでき、とてもありがたい気持ちになりました」と感想を語ってくれた。

10月23日には、「避難者と支援者による2016ふれあいフェスティバル」に51名のボランティアが参加した。

会場となった都立光が丘公園(東京都練馬区)には、広域避難者をはじめ、ボランティアなど565名が集まった。

昨年同様に子ども向けブースを出店し、大勢の子ども達や家族連れが集まり、ポップコーン、ペント作り、ヨーヨー釣りなど、終始子ども達の笑顔が絶えないブースとなった。

また、福島県から避難されている信者さんが、パンフレットを手を訪ねて来られる場面もあった。

そしてステージでは、静岡教会のハンドベルリンガーズのメンバー17名がハンドベルの演奏を披露。「見上げてごらん夜の星を」

「365日の紙飛行機」など8曲を演奏した。

同教会ではこれまで被災地の気仙沼で演奏を通じたボランティア活動を行っていたこともあり、演奏を通してお役に立ちたいという願いが実現したもので、会場からは、その美しい音色に拍手と歓声があがっていた。

このたび初めて避難先から参加された子ども連れの女性は、避難先である東京において福島県からの避難者が集まる機会があることが嬉しかった。今の生活を最優先に考える人もいますが、子ども達がペント作りやヨーヨー釣りなどをやって、笑顔で遊んでくれたので参加できて良かった」と話してくれた。

首都圏団体参拝のお知らせ

平成29年10月7日(土)～8日(日)

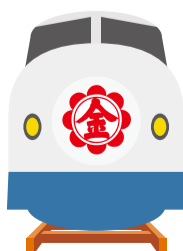
本部広前・生神金光大神大祭

首都圏参拝団は、現在式年及びその前年に団体参拝を運行しています。来年の首都圏布教130年の前年に当たる本年は、実に4年ぶりの運行となります。なぜ今、団体参拝なのか。

教祖様のご理解に「世に勢信心ということを使うが、一人で持ち上げらぬ石でも、大勢かけ声で一度に力をそろえれば持ち上がる。ばらばらでは持ち上げらぬぞ。家内中、勢をそろえた信心をせよ」とあります。団体参拝は、まさにこの持ち上げらぬ石を持ち上げることではないでしょうか。

現在、団体のみならず本部参拝自体、全教的に減少している傾向は、もはや周知の事となりつつあります。「おくにまいる」と呼ばれていた時代に思いを馳せて、金光様のお膝元に足を踏みしめることのできる有り難さを団体参拝で感じて頂き、少しでも多くの方が助かりの道に進まれますように願っております。是非とも、首都圏参拝団にご参加頂き、勢参拝のおかけを頂きましょう。

金光教首都圏参拝団 湯川光信



首都圏布教御礼祈願祭

日時: 6月10日(土) 15:20～

会場: ご本部やつなみホール(南ホール)

講話: 鈴木一嘉先生

祭典後 金光様お退けお見送り

祝宴: 神露酒造 17:00～



茨城・栃木教会連合会



清水日出男会長

茨城・栃木教会連合会は、平成29年の基本方針として、「首都圏布教130年に向けて、各教会が連帯して信心向上を目指し、地域社会に布教を展開する」を掲げ、活動としては、「神人あいよかけよの生活運動」の推進として、各自が具体的な目標を掲げ、実践していくことに取り組みたいと思

ます。現代の社会は、少子高齢化による介護や年金、経済格差、自由で多様性がある為起こる様々な困難など多くの問題をかかえています。当教会連合会は、広く社会にも目を向けながら信心の価値を見失うことなく、各教会が互いに協力して布教活動を進めさせて頂きたいと思ひます。

【主な活動】

1. 1月29～30日 信徒部主催一泊研修会 講師・結城教会長 大木光雄師 講師・信心の継承
2. 3月2日 群埼玉と教師合同研修会 講師・赤羽教会長 藤原務正師 講師・補命50年を振り返って
3. 7月8日 教師・信徒合同研修会 講師・東京センター派遣講師

首都圏フォーラムの新しい顔ぶれ

【フォーラム会議構成メンバー】

- (茨城・栃木) 清水日出男、菊池瑞昭
- (群馬・埼玉) 松本光明、小笠原操
- (千葉県) 安西宏太、鈴木宏政
- (東京都) 和泉正一、鈴木一嘉
- (神奈川・山梨) 山田信二、川込光貴
- (東京センター担当者) 嶋田洋次長

【議長】和泉正一

【副議長】安西宏太(議長代行)、山田信二

【事務局長】宮田和弘

【事務局員】横瀬佳子、長谷川兆伸、山口信道、福田俊介
松本信吉(御礼祈願祭担当)

【主査】清水日出男(ホームページ)、小笠原操(フォーラムたより)

【監事】松本尚、奥野教子

【団参委員会】委員長・和泉正一、副委員長・湯川光信

【団参監事】松本尚、嶋田洋(東京センター次長)

【壮年教師会】会長・長谷川兆伸

千葉県教会連合会



安西宏太会長

千葉県教会連合会としては、今年度は、「お礼と喜びの心で人を祈ろう」とのテーマのもとに、今まで実践してきたお礼の信心を基に、人を祈れる人にならせていただくよう、活動を進めていきたいと考えています。そのために、6月4日(日)に研修会、7月15日(土)に女性の集いを千葉教会、9月2日(土)に木更津南教会を会場に共励会を行い信心の勉強をします。また3月、9月の春秋霊祭時を中心に、定期教話を実施します。

2月5日(日)に行いました青年の集いでは、御用について理解を深くしていただくように青年信者育成祈願祭を通じてさせていただきました。7月29日(土)～30日(日)の少年少女の集いでは、キャンプを通じて神様の働き、御徳を実感してもらえようように取り組んでまいります。

このほか、4月6日～7日、10月10日～11日に千葉県団体として本部参拝します。御霊地の御徳をいただき、教会相互の親睦を図り信心の研鑽をしていきます。

今年2月19日に新たなお道の「お広前が浦安にできました。担当者には浦和教会在籍の進藤寛子先生です。テーマにもありますように共に立ち行くおかげを頂きますよう祈り合い助け合いながらおかげを蒙ってまいります。

群馬・埼玉教会連合会



松本光明会長

厳しい布教状況の中で、私たちはともすれば連合会活動の枠の中だけで物事を見、考えて、人が減った、お金がない、元気が出ない、と愚痴、不足がちになってしまふところがあります。しかし、連合会が有って教会があるのでない。教会が有って連合会があるので。各教会が元気になってもらうことが一番です。連合会は、教師、信徒が知恵を出し合い、力を出し合い、励まし合って、ど

うやったらお広前が元気になるのか、どうしたらいつそう教会で人が助かっていくのかを考え、生み出していく場でありたい、と願っています。

本年度の群馬・埼玉教会連合会は、教団の願いと共に歩みを進めてまいりたく、基本方針を「世界の平和と人類の助かりに向けて、『神人の道』を開く」と定め、また活動方針として

- (1) 「神人あいよかけよの生活運動」を推進する
- (2) 首都圏布教130年に向けて、首都圏布教及び教会活動の活性化に努める
- (3) 青少年育成に取り組む

の三つの柱を立てて活動を進めて参ります。

神奈川・山梨教会連合会



山田信二会長

【基本方針】世界の平和と人類の助かりを目指し、信者が広く連帯して、お道の活動を進めよう

【活動方針】

- 一、お道の仲間をつくろう
- 一、信心を高めよう
- 一、人を育てよう
- 一、信心の喜びを伝えよう

神奈川山梨連合会では、老若男女、信徒も教師も、力を出し合っ

て楽しく活動を進めていきます。具体的には、「教師信徒共励会」をへ信心を高め喜びを伝えよう」というテーマで2回開催。恒例の「みんなのつどい」も2回開催。今年度は横浜ハイクとファミリィキャンプで、青少年を中心に世代を越えて楽しみます。昨年からは、まつた「ビジネスセミナー」は、未信者も視野に入れ、現役世代の仕事と信心をつなげていきます。また、信徒部独自の活動として、「女性のつどい」「地域交流会」「講話と夕食の会」を行う予定です。その他、「教師会」(4回)、「輔教懇談会」(2回)、「ひいらぎの会」(教会家庭女性の会)、「山梨地域の活動」を予定しています。下半期には定期教話を行います。活動については、連合会だより「かりん」やホームページで随時広報してまいります。

東京都教会連合会



和泉正一会長

私たちは明年、首都圏布教一三〇年を迎えます。東京都教会連合会では、一昨年からの準備にとりかかっており、今年もすでに「企画会議」を開催して、首都圏布教一三〇年記念集会、「首都圏布教祈願詞」を實踐する活動、首都圏交流教話、首都圏布教御礼祈願祭とその団体参拝、『あづまの道のいしずゑ』刊行などについて、首都圏フォーラムと調整しながら、協議を進めています。なかでも記念集会是、十年ごと

のお年柄に開催しており、明年においても中心の行事となることでしょう。現在は各分会で、執行部が作成した集会企画案について検討を加えているところです。

また明年以降の首都圏布教推進のために、「首都圏布教祈願詞」を實踐する活動を興してまいりたいと考えています。今日まで三十年ちかく奉唱してきているこの祈願詞は、その底流に、金光大神様の生神の信心と天地書附の精神が流れており、首都圏布教に取り組み私たちにあって、基本的な考え方を教示しています。この祈願詞の内容を教会連合会全体で実践する取り組みは初めてですが、勢を揃えて取り組んで、私たち一人ひとりが進んで世と人が助かるお役に立ってまいりたいと思ひます。